

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 22 回部会）議事概要

日 時：令和元年 7 月 11 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 30 分

場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

【議事】

1 開会

2 情報提供

・ 柴島浄水場内の工事について

・ 北陸新幹線（敦賀・新大阪駅間）計画段階環境配慮書について

3 議題

・ 令和元年度 活動予定について

・ ワークショップ等開催報告及び意見交換

4 閉会

《配付資料》

・ 議事次第、座席表

・ 柴島浄水場内の工事について

・ 北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画段階環境配慮書の要約

・ 令和元年度 まちづくり構想部会年間計画（案）

1. 開会

2. 情報提供

柴島浄水場内の工事について

- ・ 現在、くにじまスポーツの東側に位置する上系配水池で配水池を造る工事を行っている。
 - ・ 配水池は、水の使用量の変動をカバーする役割と災害時に給水する役割を担っている。
 - ・ 配水池の規模は、短辺が約 70 メートル、長辺が約 150 メートルで、地上部分は、芝生があるような状況だが、地下に施設があり、それを改良している。
 - ・ 既設配水池は、大正 11 年に造られた非常に古い施設であり、耐震性の部分が非常に心もとない状態のため、改良する工事を進めている。
 - ・ 現在、地面を掘り下げる工事を行うため、大規模に重機等が入り施工している。
 - ・ 施工期間は、平成 29 年度から令和 3 年 9 月までを予定している。
- 以上、浄水場内で施工されている工事の概要について水道局から説明。

（質疑応答）

（部会員）

- ・ 10 年程前に水道局を半分ぐらいにするといった話や去年か一昨年に検討委員会の中間まとめがあったと思う。それとの整合性を教えて頂きたい。

（水道局）

- ・ 浄水施設の需要が下がってきたので、適正な規模に縮小していくと打ち出している。配水施設は基本、災害時も含めて大きければ大きいほどいいとされている施設であるが、阪急千里線より北側部分の浄水施設を適正規模に変えていくと話している。
- ・ しかし北側の施設の中には平成 10 年頃に造られた施設もあり、そういった施設は有効利用していいのでは

ないかという議論が別である。

- ・もう一方で、府域の水道を一元化できないかと配置を検討する場が設けられている。その検討と浄水場の施設をどう縮小するかの検討と同時並行で進めている状況であり、まちづくりの状況と水道の一元化の状況を踏まえ、適正な規模にしていきたいというところで、方針までは至っていない。

(部会員)

- ・水道の検討委員会と大阪府のグランドデザインで2つ議論していると思っているが、その整合性がどうなっているのか、地元からすると見えない。
- ・まちづくりのグランドデザインは水道局の敷地のところを併せて議論していると思っているがどうなのか。

(水道局)

- ・食い違いがあるかもしれないが、グランドデザイン大阪は平成24年頃に大阪府のまちづくり部局と大阪市のまちづくり部局で、大阪全体の検討をする中で、この柴島浄水場の用地を使えないかとスタートした議論である。
- ・勝手な認識かもしれないが、府域の水道事業全体の議論と、新大阪のまちづくりの中での柴島浄水場の用地の議論と、グランドデザイン大阪の議論の3つの議論があると思っているが、この議論の中の取り合いの部分については把握していない。ただ、まちづくりに協力できるような体制ではある。

(部会員)

- ・今工事中の配水池が令和3年にできる予定だが、上の土地はどうなるのか。

(水道局)

- ・配水池のため、汚染防止対策をしてから、周辺の使用状況やニーズを踏まえたうえで活用したいと思っている。ただ、真横で阪急連立事業が行われていて、側道整備等の状況も踏まえて調整や検討をしていきたいと思っている。

(部会員)

- ・浄水場が、いつ閉鎖するかは決まっているのか。

(水道局)

- ・決まっていない。水道局としては、まちづくりで使われるのならば施設を撤去する考えだが、撤去するにも費用が必要である。ただ、この土地を勝手に分譲するわけにはいかないという認識はある。

(部会員)

- ・現在、工事している場所の北東の土地も空き地のように見えるが。

(水道局)

- ・その土地の地下にも配水池がある。この土地を使えないかと議論していたのだが、配水池もかなり古いもので、安全に使用するだけでもかなりの費用がかかる。いずれはまちづくりの一環の中でどう整備するか話をしたいと思っている。すぐに使いたいと意見があることは理解しているが現状では非常に危険で今すぐの使用はできない。

(久教授)

- ・府全体の広域水道事業団がここを使いながら水を配るとなると、需要量をどう算定するかが難しいと思う。

- ・自治体によっては、地元で水を作らずに府営水道を買っているところもあると思う。府から水を買うところは、持っている浄水場を廃止することもあると思う。

(水道局)

- ・水源を持っている市と、そうでない市がある。また、職員が減っており浄水場自体の維持が負担に感じている市など、いろんな事情や意見がある中で、大阪府に調整してもらっている。

(久教授)

- ・逆に、柴島浄水場で浄水量はこれだけしか作れないことを前提に各市にどうするのかを問う方法もあると思う。

(水道局)

- ・昨年の検討の中で、水道局から送ったほうがメリットがあると思われる周辺の事業者と、大阪広域水道企業団から送ったほうがメリットのあると思われるところを、大まかな試算で出している。それをベースに議論をしている状況で、各事業者がどう受け止めるのか待っているような状況である。

・北陸新幹線（敦賀・新大阪駅間）計画段階環境配慮書について

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・配慮書の手続きとは、これからの事業の位置、規模等の計画検討段階において環境のために配慮しなければならない事項を検討する手続きであり、今これを行っている。
- ・その次に方法書の手続きがあり、どのような項目にどのような方法で調査、予測、評価するかを決定する手続きである。
- ・配慮書や方法書といった段階を踏まえてから、現地調査を行う。現地調査の結果をまとめについては、準備書の手続きの段階で意見聴取を行う。
- ・令和4年度末の完成を目指し、金沢敦賀間を工事している。その先、敦賀から新大阪間の工事を行う予定である。駅は敦賀から小浜市附近、京都駅、京田辺市附近、そして新大阪駅が終点になる予定である。
- ・事業実施想定区域を駅の予定地や大まかなルートから設定している。その範囲の中で今後調査を行い、実際のルートについて検討をしていきたいと考えている。
- ・今後のルート検討において、特に東淀川区に関連すると思われる項目は2つある。1つは、大阪市及びその周辺においては基本的に地下トンネルとするように検討を行う。もう1つ京都市、大阪市及びその周辺の地下トンネルは、可能な限り道路等公共用地の下を活用を考慮し、必要に応じて「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」の活用も検討を行う。
- ・配慮すべき事項は、騒音、低周波音、振動、水質、地下水、水資源、地形地質、文化財、動植物、生態系、景観、人と自然とのふれ合いの活動の場といったものを考慮する。
- ・敦賀大阪間の事業規模の検討結果は、建設延長143キロ、概算建設費2兆1000億、想定工期15年である。所要時間は現在のサンダーバードと比べて約1時間強短縮の効果がある見込みで、運賃は概ね2000円程高くなる試算結果である。現時点で、着工を約12年後に想定しているが、前後する可能性はある。
- ・中央リニアの情報は当機構も現在はあまり情報を持っていない。

以上、北陸新幹線（敦賀・新大阪駅間）計画段階環境配慮書の概要について独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から説明。

（質疑応答）

（部会員）

- ・資料だと、新大阪から真東に行くように見える。新大阪から発進するときに、いきなり違う線に進むのか。

（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

- ・東海道線とは全く別線で考えている。基本的に大阪市内は地上には顔を一切出さずに、駅も地下駅、トンネルも地下トンネルで考えている。
- ・8割は地下トンネルを想定しているが残りの2割は、高架や、比較的平野が広がっていて家等のない地上を走行する予定である。

（久教授）

- ・東北新幹線の上野駅のようなものか。

（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

- ・その通りである。新大阪駅付近は、家が密集し地上に出すにはかなりの立ち退きが必要であり、それは難しいということで決まった。

（部会員）

- ・中央リニアとは全然お話ができていないのか。2031年に着工予定だと、中央リニアと同じぐらいか、中央リニアが早いと思うが。

（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

- ・話はできていない。今の全体の流れだとリニアの方が早いと思う。

（部会員）

- ・中央リニアも地下を想定していると思う。いずれどこかで調整は必要ではないのか。

（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

- ・当然必要になると思っている。一番だめなことは、例えば同じ道路の下を使うとなった時に、それぞれが別々に掘削し、地元に迷惑をかけることであると認識している。

（部会員）

- ・大深度地下の公共的使用に関する特別措置法とはどのような法律なのか。

（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）

- ・40メートルより地下の部分は、基本的に距離があり、杭等が立ったとしてもそれぐらい離れていれば地上に影響はない。また、地権者の権利は及ばないという仮定でトンネルというようなものを造ることはできるといったものである。

（部会員）

- ・地元としては、どこを通るのかを知りたい。

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・現時点では、できる限り公共道路の下を通ることを考えているとしか答えられない。

(部会員)

- ・中央リニアも同じことを言っている。同じルートを通る場合、2階、3階といったことは可能なのか。

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・縦に並ぶのか、横に並べるのかは別として可能である。そうなると、別々で掘るのは厳しくなり非効率である。一緒に掘るのが一番素直なやり方であり、調整が必要になると考えている。

(部会員)

- ・この線を通すことでメリット、デメリットがあると思う。メリット側では何があるのか。

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・メリットは、金沢や北陸からの利用が増えることだと思っている。

(久教授)

- ・大学側の立場からすると、金沢の高校生はほぼ大阪の大学に来る。富山が半々だと思う。ところが、この北陸新幹線は東京にタッチして大阪にタッチしないので、かなりの割合で東京に流れると思う。これが大阪にタッチすると、また富山の高校生が大阪に通い始めると思う。

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・今、金沢から大阪、東京どちらも2時間半だが、北陸新幹線が開通すると東京行きに流れるかもしれない。富山も昔は大阪が主だったが、今はほぼ東京に向いているという話は、関西にとってゆゆしき問題だと認識している。

(部会員)

- ・意見書を紹介して欲しい。

(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- ・報告書の中で紹介するので、詳細は伏せるが、数は30ぐらいで、京都の文化財について、地下水について、ルートについての意見書が多い。

・区民まつりの開催日について

- ・7月3日に区民まつりの実行委員会が開催されました。今年度の東淀川区の区民まつりの開催日が9月8日に決まった。内容等詳細については実行委員会で調整することになっている。

以上、区民祭りの開催日について事務局から報告された。

3. 議題

・令和元年度 活動予定について

- ・第23回9月8日(日)13時～
摂津まるごとマーケットの見学を予定。
- ・第24回9月12日(木)19時～
摂津まるごとプロジェクトの講演会、フリートークを予定。

・第25回 11月14日（木）19時～

都市計画局から第2回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会の開催報告を予定。第2回検討協議会は夏に開催予定のため、第25回構想部会までには開催されていることを想定している。また、地域活動について事例紹介を予定。

・第26回 12月予定

1月開催分を前倒しし、12月にクリスマスなどのイルミネーションを実施している地域などの見学を予定。実施期間などを確認して開催日を決定したいと考えている。

・第27回 3月12日（木）時間未定

昨年度と同様に協議会と同時開催として、次年度の活動報告、予定案などを確定する予定。

以上、令和元年度の活動予定について事務局から提案された。

（各部会員）

・各部会員の予定を確認し、当日参加できる部会員で見学に行くことが決定。

・ワークショップ等開催報告及び意見交換

<新庄地域>

- ・10月28日の新庄フェスティバルに向けて動いている。
- ・保健福祉計画が完成間近である。でき次第提供する予定である。

<豊新地域>

- ・8月の第1の土日に盆踊りを開催予定。
- ・豊新のロゴが2月のウインターフェスティバルにて決定した。
- ・豊新コインという地域通貨のようなものを作りたいと思っている。街のイベントに従事した方たちに、そのコインをあげ、コインと何かを交換できるようにして、ボランティアを増やしたいという流れになっている。

<下新庄地域>

- ・7月27日にサマーフェスティバル、8月の1週目、2週目に盆踊りを開催予定。

<啓発地域>

- ・7月27日にお祭りを開催予定。

<西淡路地域>

- ・8月18日に西淡路サマーフェスタ、淡路の地域まつりを区民まつりの日の午前中に開催予定。

<淡路地域>

- ・淡路は8月18日と7月28日に淡路地域まつりを開催予定。
- ・8月の7日、8日に2日間サッカーイベントを開催予定。

<東淡路・柴島地域>

- ・7月27日にお祭りを開催予定。
- ・8月3日に地域の夏祭りを開催予定。

・久教授のアドバイス要旨

- ・摂津まるごとマーケットは、30代、40代の子育てママさん、10人弱がコアになり、あれだけのことを動かしている。肌で感じていただければ、うれしく思う。
- ・地域通貨の話が出ていたが、使えるお店を増やしていく等、事務局が大変である。
- ・ある市ではICカードでボランティアや、アンケートに答える等の市の事業を手伝うことで、ポイントが貯まり、それを色々なお店で使えるような仕組みになっている。

4. その他・閉会

(部会員)

- ・情報提供については、工事等が始まる前に資料だけでも伝わっていた方がいいと思う。また、11月に報告がある件も資料だけでも事前にメール、LINE等で共有しておきたい。

(事務局)

- ・次回部会は9月8日（日曜日）午後13時より摂津コミュニティプラザにて開催